

2月25日から国公立大学前期試験がはじまります。共通テスト後1ヶ月間、学校で国語、数学、英語をはじめ理科や小論文の個人指導を受けてきました。自分の努力を信じ、2次試験に臨んでください。努力をしてきた君たちだから「**きっと、大丈夫**」。

卒業新聞のなかに、「もう少し時間があつたら、」という文言がありました。やってもやっても足りない時間に気がついたのだと思います。1、2年生の皆さん、甲子園やインターハイ、ウインターカップの出場を目指して、部員の皆さんは何をしているのでしょうか。練習に打ち込み、上手くなろう勝ちきれぬ技術や体力をつけようと、時間をかけて取り組んでいるはず。大学の合格を勝ち取るのも同じではないでしょうか。解く練習をし、理解しなければと時間をかけてきた者が合格（出場）を手に入れるのではないのでしょうか。勉強に時間をかけ、解けるようにならなければと思ってください。また、やらされていると感じていけば伸びません。自主性や自発性が大切となってきます。

1、2年生の皆さんは目の前の学年末考査を頑張りましょう。ただし、いつも以上に誰もが頑張ることを知っておいてください。



中国新人大会
2023.2.18 出雲市

○「TOYORA」ってどんな学校？「TOYORA」と「TOYOURA」の違いは？

国公立大学の2次試験に向けて面接練習をしているとき、「君の過ごした豊浦高校ってどのような学校ですか？」と質問をします。すると大抵の豊高生は「文武両道の学校です」とまず答えが返ってきます。君の通った高校はどのような学校で、「その中で君は3年間過ごしたんだね」と相手側は理解したいのに、「文武両道」ではありきたりで、どこにでもある学校でイメージが湧きません。また、「トヨウラ高校」と言えば「トヨラ高校」だと憤慨するのに、違いが分かっています。説明を求められても答えられません。皆さんはどうでしょう？最近の2次試験面接では、本当にこの大学に入りたいのか、この学部なのかをしっかりと聞いてきます。「部活で頑張りました」だけではだめです。何をどうしたのか、何を学んだのかを答えて欲しいです。また、部活動以外で頑張ったこととして探究活動やボランティア活動等が求められます。何か語れる活動を意識しておきたいですね。

○3月入試（私立大学）について

3月中旬頃までを期限に、出願ができる私立大学がいくつかあります。上位校では、共通テスト利用は得点率80%以上ないと厳しい大学が多いです。今年は、多くの人が個別学力検査で勝負することになります。今年は昨年と違い、共通テストは全体に高得点です。

郵送またはWEB出願締切日（関西以西で、科目による個別学力検査で受験できる大学等）

- 2月28日 龍谷大学 安田女子大学
- 3月1日 甲南大学 久留米大学 筑紫女学園大学
- 3月2日 川崎医療福祉大学 宇部フロンティア大学
- 3月3日 吉備国際大学 九州保健福祉大学
- 3月4日 桃山学院大学 九州栄養福祉大学
- 3月7日 広島国際大学
- 3月10日 広島工業大学
- 3月13日 山口学芸大学
- 3月20日 梅光学院大学 *変更の場合もあるので、各大学・学部学科は要項等で確認してください。

○前期合格発表日（本校前期受験校）

- 3月6日 山口大学、下関市立大学、山口県立大学、山口東京理科大学、長崎県立大学、周南公立大学
- 3月7日 福岡教育大学
- 3月8日 岡山大学、広島大学、九州大学、長崎大学、大分大学、県立広島大学、北九州市立大学
- 3月9日 神戸大学

別日程 2月27日（B日程）国際教養大学（C日程は3月22日）

○国公立大学・私立大学の合否連絡について

3年生は火曜日の登校日をはじめ、学校に来たときはもちろんですが、担任や進路指導課へ必ず一報を入れてください。先々、**最終進学先が決まったら、その連絡も必ず行ってください。**

○終わりに

18日土曜日広島基町高校の進路講演会に行ってきました。1、2年保護者向けで、入試動向と保護者の心構えについてでした。情報提供は負けてはいられないと感じましたが、講演を聴きながら、本校の家庭学習習慣をなんとかせねばと改めて思いました。

日曜日午後晴れてきたので犬の散歩に出てみたら、向こうの山々がかすんでいました。これはまずいぞ思っていたら、案の定、くしゃみと鼻水、目がチカチカしてきました。春になってきた証です。うれしい反面、困ったなど、。日も長くなり、時刻と活動時間にズレが出てきました。人は自然の変化に対応しながら生活してるんだと改めて感じました。さて、2次試験直前です。悔いなく力を発揮して欲しいです。（文責 木嶋）

○「TOYORA」と「TOYOURA」の違いは？

『日本書紀』によると14代仲哀天皇（2C末頃？）のとき、九州征伐に向けて出兵した際、この長府（今の忌宮神社）に仮の宮「豊浦宮」（とよらのみや）を7年間置いたそうです（推古天皇の豊浦宮とは別もの）。

江戸時代になり、1792年（寛政4）10代長府藩主毛利匡芳（まさよし）により藩校として敬業館が設立されました。明治時代になり、「豊浦小学」「豊浦学舎」と改称し、さらに1899年（明治32）山口県豊浦中学校となりました。このときの卒業生から本校では第1期として数えています。1901年（明治34）には山口県立豊浦中学校となります。版籍奉還の直後、1869年（明治2）6月に長府藩は豊浦（とよら）藩と改称されています。

よって、「豊浦宮」にちなんで、学校名を「とよら」と称し、地域名は豊浦郡にみられるように「とよら」と称したようです。野球部のユニフォームには、明治末期以降「TOYORA」のマークを用いているようです。（参考文献「豊浦高等学校百年史 近代」）



大正期の
庭球部員